



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月6日

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 津川 和人

TEL 045-948-1961

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,704	12.9	605	7.9	607	8.0	493	3.8
2019年3月期第2四半期	4,166	22.0	658	59.9	660	61.4	475	22.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	58.08	
2019年3月期第2四半期	55.49	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	15,799	13,642	86.3
2019年3月期	16,155	13,741	85.1

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 13,642百万円 2019年3月期 13,741百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		47.00	47.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				47.00	47.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	7.2	1,400	7.8	1,400	8.8	1,000	8.9	116.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	8,760,000 株	2019年3月期	8,760,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	279,501 株	2019年3月期	188,082 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	8,500,260 株	2019年3月期2Q	8,568,413 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績は好調を維持し、雇用環境も改善が進んだ一方、輸出や生産、設備投資等の指標に弱さがみられるなど、予断を許さない景気動向が続きました。世界経済については、アジアやヨーロッパにおける景気回復の減速、米中間の通商問題の深刻化などにより、先行き不透明な状態で推移しました。

医療機器業界では、医療費の抑制が政策課題として掲げられる中で、医療のあり方が改めて問い直される状況が続いております。

このような経営環境の中で当社は、国内市場における採血管準備装置の大型更新案件や、国内市場を中心に順調に拡大する消耗品需要に着実に対応してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,704,692千円(前年同期比12.9%増加)となりました。なお、総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比6.8ポイント減少し7.9%となりました。

利益面に関しては、売上高の増加により売上総利益が2,122,565千円(前年同期比8.0%増加)となり、販売費及び一般管理費については、人員増による人件費の増加などにより1,516,740千円(前年同期比16.0%増加)となり、営業利益は605,825千円(前年同期比7.9%減少)、経常利益は607,899千円(前年同期比8.0%減少)、四半期純利益は493,726千円(前年同期比3.8%増加)となりました。

#### <品目別の販売状況>

##### ・採血管準備装置

当第2四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は1,993,667千円(前年同期比31.5%増加)となりました。国内市場の売上高は、前事業年度末の受注分を含めた大型の更新案件が集中した結果、1,830,427千円(前年同期比59.0%増加)となりました。一方の海外市場では、前年同期には中国向けの販売案件が集中したことや、当第2四半期においては受注の遅れがあったことなどから、売上高は163,240千円(前年同期比55.2%減少)となりました。

##### ・検体検査装置

当第2四半期累計期間における検体検査装置の売上高は265,376千円(前年同期比17.6%減少)となりました。前年同期において好調だった血液ガス分析装置の売上にやや足踏みが見られたことから、国内市場での売上高は206,137千円(前年同期比15.1%減少)、海外市場においては、ハンディ型の血液ガス分析装置の販売案件に遅れがあったことなどから、59,238千円(前年同期比25.4%減少)となりました。

##### ・消耗品等

当第2四半期累計期間における消耗品等の売上高は2,445,648千円(前年同期比5.0%増加)となりました。国内市場での売上高は2,297,951千円(前年同期比6.4%増加)、海外市場での売上高は147,697千円(前年同期比12.8%減少)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は15,799,670千円となり、前事業年度末比355,519千円減少しました。これは主に、本社近隣の賃借物件内に物流センターを新設したことにより建物が134,516千円増加、消耗品製造設備の新設等により建設仮勘定が50,437千円増加したことや、現金及び預金が48,485千円増加した一方、売上債権の回収が順調に進んだことにより売掛金が489,933千円減少したほか、商品及び製品が107,519千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債の残高は2,157,102千円となり、前事業年度末比256,247千円減少しました。これは主に、未払消費税等が42,105千円増加、賞与引当金が28,832千円増加した一方、役員退職慰労金の支給等により役員退職慰労引当金が122,423千円減少したほか、買掛金が96,776千円減少、未払法人税等が94,842千円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は13,642,568千円となり、前事業年度末比99,271千円減少しました。これは、剰余金の配当402,880千円があった一方、四半期純利益が493,726千円となったことと、自己株式の増加190,332千円があったこと等によるものであります。なお、自己資本比率は86.3%となり、前事業年度末比1.2ポイント増加しました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は、7,178,741千円（前事業年度末比21,671千円減少）となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期累計期間において、営業活動により得られた資金は877,659千円（前年同期比372,355千円増加）となりました。これは主に、税引前四半期純利益が677,162千円、売上債権の減少額が510,622千円であった一方、法人税等の支払額が257,492千円であったことによるものであります。

当第2四半期累計期間において、投資活動により支出した資金は296,627千円（前年同期比219,067千円増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出222,665千円があったほか、定期預金の預入による支出70,157千円があったことによるものであります。

当第2四半期累計期間において、財務活動により支出した資金は602,703千円（前年同期比216,959千円増加）となりました。これは主に、配当金の支払額402,690千円があったほか、自己株式の取得による支出200,013千円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日付の2019年3月期決算短信で発表した2020年3月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,518,650	9,567,135
受取手形	46,387	47,250
電子記録債権	378,281	356,729
売掛金	2,795,226	2,305,292
商品及び製品	1,328,094	1,220,575
仕掛品	153,913	195,269
原材料及び貯蔵品	113,835	122,485
前払費用	32,326	38,664
未収消費税等	11,412	-
その他	10,887	10,141
貸倒引当金	△2,241	△2,241
流動資産合計	14,386,774	13,861,303
固定資産		
有形固定資産		
建物	954,961	1,105,711
減価償却累計額	△564,466	△580,699
建物（純額）	390,494	525,011
構築物	4,077	2,577
減価償却累計額	△3,619	△2,318
構築物（純額）	458	259
機械及び装置	186,219	186,219
減価償却累計額	△137,527	△146,082
機械及び装置（純額）	48,691	40,136
工具、器具及び備品	173,196	194,675
減価償却累計額	△132,329	△146,574
工具、器具及び備品（純額）	40,867	48,100
土地	787,326	787,326
建設仮勘定	-	50,437
有形固定資産合計	1,267,837	1,451,272
無形固定資産		
ソフトウェア	13,640	30,322
ソフトウェア仮勘定	18,770	-
電話加入権	1,177	1,177
特許権	1,793	1,678
無形固定資産合計	35,382	33,178
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
繰延税金資産	316,562	297,725
長期前払費用	26,975	31,512
その他	114,147	117,168
投資その他の資産合計	465,196	453,916
固定資産合計	1,768,416	1,938,367
資産合計	16,155,190	15,799,670

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,111,813	1,015,037
未払金	252,733	188,271
未払費用	67,794	72,514
未払法人税等	293,802	198,959
未払消費税等	—	42,105
前受金	118,385	125,305
預り金	9,601	11,761
前受収益	129,559	157,815
賞与引当金	130,333	159,166
役員賞与引当金	28,300	—
その他	1,275	1,466
流動負債合計	2,143,599	1,972,402
固定負債		
退職給付引当金	134,165	146,746
役員退職慰労引当金	122,423	—
製品保証引当金	3,177	2,354
その他	9,984	35,598
固定負債合計	269,750	184,700
負債合計	2,413,350	2,157,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	968,140
利益剰余金	12,095,063	12,185,910
自己株式	△390,949	△581,282
株主資本合計	13,741,840	13,642,568
純資産合計	13,741,840	13,642,568
負債純資産合計	16,155,190	15,799,670

（2）四半期損益計算書  
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
売上高	4,166,390	4,704,692
売上原価	2,200,935	2,582,126
売上総利益	1,965,455	2,122,565
販売費及び一般管理費	1,307,367	1,516,740
営業利益	658,088	605,825
営業外収益		
受取利息	222	233
受取配当金	0	0
為替差益	152	-
受取賃貸料	-	3,032
その他	2,137	1,035
営業外収益合計	2,512	4,302
営業外費用		
支払利息	47	-
為替差損	-	2,084
その他	-	143
営業外費用合計	47	2,228
経常利益	660,553	607,899
特別利益		
受取損害賠償金	16,510	80,000
特別利益合計	16,510	80,000
特別損失		
訴訟関連費用	2,152	10,553
固定資産除却損	-	183
特別損失合計	2,152	10,736
税引前四半期純利益	674,911	677,162
法人税、住民税及び事業税	189,818	164,598
法人税等調整額	9,655	18,836
法人税等合計	199,473	183,435
四半期純利益	475,438	493,726



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	674,911	677,162
減価償却費	32,249	43,387
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,833	△122,423
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,836	12,581
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,742	28,832
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,847	△822
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,675	△28,300
受取利息及び受取配当金	△222	△233
有形固定資産除却損	-	183
支払利息	47	-
売上債権の増減額 (△は増加)	771,253	510,622
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△292,020	57,514
仕入債務の増減額 (△は減少)	△324,590	△96,776
その他の資産の増減額 (△は増加)	△13,734	9,826
その他の負債の増減額 (△は減少)	△17,803	43,364
小計	819,980	1,134,918
利息及び配当金の受取額	222	233
利息の支払額	△47	-
法人税等の支払額	△314,851	△257,492
営業活動によるキャッシュ・フロー	505,304	877,659
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△60,148	△70,157
有形固定資産の取得による支出	△13,087	△222,665
無形固定資産の取得による支出	△3,722	△2,135
差入保証金の差入による支出	△2,863	△4,787
差入保証金の回収による収入	2,262	3,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,559	△296,627
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△124	△200,013
配当金の支払額	△385,619	△402,690
財務活動によるキャッシュ・フロー	△385,744	△602,703
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41,999	△21,671
現金及び現金同等物の期首残高	7,129,237	7,200,412
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,171,237	7,178,741

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2019年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式95,400株を取得いたしました。この結果、当第2四半期累計期間において、単元未満株式の買取による取得等も含めて自己株式が190,332千円増加し、当第2四半期会計期間末における自己株式は581,282千円となっております。

（追加情報）

当社は、2019年6月26日開催の第32期定時株主総会において、取締役に対する退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給ならびに退任取締役に対する退職慰労金贈呈について決議いたしました。

これに伴い、役員退職慰労引当金を全額取り崩し、支給済分を除く打ち切り支給額の未払分35,598千円を固定負債のその他（長期未払金）に含めて表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）及び当第2四半期累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

当社は、医療機器及びこれら装置で使用する消耗品の製造、販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。